

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 アドテック

コード番号 6840 URL <http://adtec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小田 吉康

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長

(氏名) 滝上 圭一

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

TEL 03-6736-5300

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	787	△63.6	△226	—	△218	—	△216	—
21年3月期第2四半期	2,163	—	△6	—	△7	—	△8	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△21.81	—
21年3月期第2四半期	△0.90	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,747	—	1,323	—	75.0	132.18
21年3月期	2,079	—	1,530	—	73.1	153.19

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,311百万円 21年3月期 1,519百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△14.0	△320	—	△310	—	△310	—	△31.25

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 10,266,720株 21年3月期 10,266,720株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 345,478株 21年3月期 344,978株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 9,921,493株 21年3月期第2四半期 9,924,330株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期業績予想につきましては、平成21年10月23日の発表から修正はありません。上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展による生産や輸出の底打ち、経済対策の効果により一部持ち直しの兆しが見られるものの、企業収益の不振や雇用環境の悪化、個人消費の低迷など景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社製品に関連する半導体メモリ市況に関して、これまで下落基調にありましたDRAM価格は需給バランスの改善により当第2四半期は上昇基調に転じ、またNAND型フラッシュ価格においてもスマートフォン需要増等により上昇基調にありますが、メモリ需要面では、パソコン及び携帯電話の出荷台数は、前年同期と比較すると依然として低迷が継続しております。

こうした状況の中、当第2四半期累計期間の業績につきましては、メモリモジュール製品において、売上高が市況回復により第1四半期に比べ増加に転じたものの、前年同期比では主にOEM顧客における販売価格の下落及び販売数量の減少により372百万円（前年同期比59%減）と大幅減となりました。

フラッシュメモリ関連製品につきましては、主に携帯系顧客向け販売数量の減少により165百万円（前年同期比64%減）となりました。

その他製品群では新規製品でありますマイクロプロジェクターやセーフティーカメラ（車載関連製品）は、一定の投入効果が見られたものの、比較的好調に推移しておりました超小型PC（NET BOOK）が、メーカー側の販売方針変更により、既存ルートでの調達が困難となり、販売実績が対前年同期に比べ大幅に減少しました。また前年第1四半期に取引実績のありましたモニターのトレーディングビジネスについて、在庫リスク及び為替リスク回避のため取り止めた影響もあり250百万円（前年同期比68%減）にとどまりました。

これにより売上高は787百万円（前年同期比63%減）となり、売上総利益につきましてもメモリ関連製品全般の売上高減少の影響、新規製品のうち販売不振に伴う販売価格の引下げ及び在庫評価減により29百万円（前年同期比89%減）と大幅に減少いたしました。販管費は前年同期比16百万円減少いたしました。営業損失は226百万円（前年同期比220百万円減）、経常損失は218百万円（前年同期比211百万円減）、四半期純損失は216百万円（前年同期比207百万円減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期末における流動資産の残高は、1,628百万円（前事業年度末は1,929百万円）となり、前事業年度末と比較して301百万円減少いたしました。主な要因として、現金及び預金が122百万円増加したほか、受取手形及び売掛金が379百万円、棚卸資産が57百万円それぞれ減少しております。

(固定資産)

当第2四半期末における固定資産の残高は、119百万円（前事業年度末は149百万円）となり、前事業年度末と比較して30百万円減少いたしました。主な要因として、差入保証金が35百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第2四半期末における流動負債の残高は、372百万円（前事業年度末は497百万円）となり、前事業年度末と比較して124百万円減少いたしました。主な要因として、買掛金が52百万円減少、短期借入金が40百万円減少、未払金が21百万円減少いたしました。

(固定負債)

当第2四半期末における固定負債の残高は、前事業年度末とほぼ同額の52百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産の残高は、1,323百万円（前事業年度末は1,530百万円）となり、前事業年度末と比較して207百万円減少いたしました。主な要因として、利益剰余金が216百万円減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、799百万円となり前事業年度末に比べ122百万円増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は136百万円（前年同期は671百万円の獲得）となりました。主な要因は税引前四半期純損失214百万円、売上債権の減少379百万円、前渡金の増加54百万円、たな卸資産の減少57百万円、仕入債務の減少52百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の獲得は25百万円（前年同期は20百万円の支出）となりました。主な要因は、差入保証金及び敷金の還付収入47百万円、保証金の差入による支出15百万円、無形固定資産の取得4百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の支出は40百万円（前年同期は50百万円の支出）となりました。主な要因は短期借入金の純減によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年10月23日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」から現時点において変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計方針の変更

（棚卸資産の評価基準および評価方法）

第1四半期会計期間より新販売管理システムの導入を機に、主要原材料の一時的な市況変動による在庫評価への影響を排除し、より適正な期間損益を算定することを目的として、商品・製品・原材料・貯蔵品について移動平均法による原価法から総平均法による原価法に変更いたしました。なお、これによる営業損益、経常損益、税引前四半期純損益に対する影響は軽微であります。

仕掛品につきましては従来とおり個別法による原価法により評価しております。

表示方法の変更

当第2四半期累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

（四半期キャッシュ・フロー計算書関係）

前第2四半期累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「前渡金の増減額（△は増加）」は重要性が増したため、当第2四半期累計期間では区分掲記することとしております。

なお、前第2四半期累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「前渡金の増減額（△は増加）」は△8,138千円であります。

当第2四半期会計期間（自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日）

（四半期貸借対照表関係）

財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令（平成20年8月7日 内閣府令第50号）の適用に伴い、前第2四半期会計期間において、「商品」「製品」として記載されていたものは、当第2四半期会計期間は「商品及び製品」と一括して掲載しております。なお、当第2四半期会計期間に含まれる「商品」「製品」は、それぞれ112,125千円、173,343千円であります。

また、前第2四半期会計期間において、「原材料」「貯蔵品」として記載されていたものは、当第2四半期会計期間は「原材料及び貯蔵品」と一括して掲載しております。なお、当第2四半期会計期間に含まれる「原材料」は、51,038千円であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	799,371	677,243
受取手形及び売掛金	294,218	673,541
商品及び製品	285,469	296,261
仕掛品	8,547	4,636
原材料及び貯蔵品	51,038	101,603
その他	190,210	180,308
貸倒引当金	△314	△3,899
流動資産合計	1,628,541	1,929,694
固定資産		
有形固定資産	19,451	20,578
無形固定資産	24,554	27,551
投資その他の資産		
その他	231,439	257,716
貸倒引当金	△156,317	△156,317
投資その他の資産合計	75,122	101,399
固定資産合計	119,129	149,529
資産合計	1,747,670	2,079,224
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,492	113,916
短期借入金	240,000	280,000
未払法人税等	3,367	4,804
賞与引当金	10,500	14,055
その他	56,865	84,370
流動負債合計	372,225	497,146
固定負債		
退職給付引当金	25,242	25,370
その他	26,816	26,251
固定負債合計	52,058	51,621
負債合計	424,284	548,767

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,469,210	1,469,210
資本剰余金	281,335	281,335
利益剰余金	△309,493	△93,136
自己株式	△130,747	△130,708
株主資本合計	1,310,305	1,526,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,108	△6,720
評価・換算差額等合計	1,108	△6,720
新株予約権	11,972	10,475
純資産合計	1,323,385	1,530,456
負債純資産合計	1,747,670	2,079,224

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,163,151	787,976
売上原価	1,896,877	758,853
売上総利益	266,274	29,122
販売費及び一般管理費	272,414	255,837
営業損失(△)	△6,140	△226,715
営業外収益		
受取利息	775	158
受取配当金	241	10
有価証券利息	50	—
為替差益	—	8,733
雑収入	1,948	1,515
営業外収益合計	3,016	10,418
営業外費用		
支払利息	3,561	2,388
債権売却損	21	—
為替差損	367	—
営業外費用合計	3,950	2,388
経常損失(△)	△7,073	△218,685
特別利益		
貸倒引当金戻入額	443	3,667
賞与引当金戻入額	—	3,704
固定資産売却益	—	31
特別利益合計	443	7,403
特別損失		
固定資産除売却損	92	1,484
事務所移転費用	—	2,028
特別損失合計	92	3,513
税引前四半期純損失(△)	△6,723	△214,794
法人税、住民税及び事業税	2,211	1,562
法人税等合計	2,211	1,562
四半期純損失(△)	△8,934	△216,357

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	818,082	439,540
売上原価	695,006	454,482
売上総利益又は売上総損失(△)	123,075	△14,942
販売費及び一般管理費	134,427	131,699
営業損失(△)	△11,351	△146,641
営業外収益		
受取利息	594	66
受取配当金	146	—
為替差益	2,371	6,890
有価証券利息	50	—
雑収入	1,424	183
営業外収益合計	4,589	7,140
営業外費用		
支払利息	1,695	1,223
営業外費用合計	1,695	1,223
経常損失(△)	△8,458	△140,724
特別損失		
固定資産除売却損	92	1,484
事務所移転費用	—	2,028
特別損失合計	92	3,513
税引前四半期純損失(△)	△8,551	△144,237
法人税、住民税及び事業税	1,001	685
法人税等合計	1,001	685
四半期純損失(△)	△9,552	△144,923

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△6,723	△214,794
減価償却費	9,317	9,538
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△443	△3,585
賞与引当金の増減額 (△は減少)	89	△3,555
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△396	△127
受取利息及び受取配当金	△1,016	△168
支払利息	3,561	2,388
為替差損益 (△は益)	△458	21
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△31
有形固定資産除却損	—	1,484
売上債権の増減額 (△は増加)	94,828	379,323
たな卸資産の増減額 (△は増加)	524,969	57,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	94,244	△52,423
前渡金の増減額 (△は増加)	—	△54,144
その他	△38,244	19,635
小計	679,727	141,007
利息及び配当金の受取額	413	147
利息の支払額	△5,861	△1,615
法人税等の支払額	△3,171	△3,301
営業活動によるキャッシュ・フロー	671,108	136,237
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,943	△1,728
無形固定資産の取得による支出	△15,420	△4,764
貸付金の回収による収入	82	84
差入保証金の差入による支出	—	△15,000
差入保証金の回収による収入	—	37,050
敷金の回収による収入	—	10,941
その他	△495	△632
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,775	25,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50,000	△40,000
自己株式の取得による支出	△166	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,166	△40,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	458	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	600,624	122,128
現金及び現金同等物の期首残高	390,717	677,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	991,342	799,371

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、販売の状況

(1) 生産実績

品目	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同期比 (%)
メモリモジュール製品 (千円)	67,855	41.0
フラッシュメモリ関連製品 (千円)	13,771	34.6
その他周辺機器 (千円)	35,758	1,828.2
合計 (千円)	117,384	56.6

(注) 1. 金額は総製造費用により記載しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

品目	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同期比 (%)
メモリモジュール製品 (千円)	224,478	50.5
フラッシュメモリ関連製品 (千円)	90,714	42.2
その他周辺機器 (千円)	124,347	78.4
合計 (千円)	439,540	53.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。